

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
32403	簿記基礎演習 Bookkeeping basic exercise	松葉哲也	✓	専門	1	選択	1.2前期
科目の概要							
簿記とは、会社などの事業者が日々行う経営活動を記録・計算して、経営成績と財政状態を明らかにするための技能である。サービスの多様化が進む現代における社会人基礎力として重要性が高まっている数値管理能力を修得するための土台として、簿記の基礎を習得する。★税理士資格を取得して15年、事務所を開業して8年、会計及び税務の実務を行ってきた経験を活かし、この科目では、実際に活用できる簿記の知識を取り入れるとともに、簿記検定対策にもつなげていく。							
学修内容				到達目標			
① 簿記の目的を理解する。 ② 簿記の実践に必要な仕訳の意味を理解し、仕訳の作成方法を知る。 ③ 試算表の意味を理解し、作成方法を知る。 ④ 決算書の意味を理解し、作成方法を知る。 ⑤ 財務諸表の意味を理解し、作成方法を知る。				① 簿記の意味と仕組みを説明することができる。 ② 実際の取引例から仕訳を作成することができる。 ③ 試算表の意味を説明し、作成することができる。 ④ 決算書の意味を理解し、作成することができる。 ⑤ 財務諸表の意味を理解し、作成することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	ア. 簿記を使うために必要な知識について、教科書を使って自己学修することができる。 イ. 自ら練習する態度を身に付けることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	ア. 仕訳を行うために必要な思考を、反復練習により身に付けることができる。 イ. 目標を設定し、最後までやり遂げることができる。					
考え抜く力	課題発見力	簿記という統一ルールに基づいて情報を客観的に整理することで、テキストに載っていない取引も簿記で表現できることに気付くなど、問題を自ら見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	簿記という手段により、一つの事柄を多面的に捉えることを学び、固定概念にとらわれない情報理解のきっかけを手に入れることができる。					
チームで働く力	発信力	課題に取り組むうえで、自分の考えを相手に説明できる機会が期待でき、聞き手に伝わりやすいように工夫して発表することができる。					
	傾聴力	課題に取り組むうえで、他人の意見を確認して、その内容を自分の学びに活かすことができる。それを踏まえた自分の意見も述べるすることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：「サクッとわかる日商3級商業簿記テキスト【第2版】」、桑原知之 著、ネットスクール出版、1,320 円 参考文献：なし							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：簿記応用演習 資格との関連：簿記検定							
学修上の助言				受講生とのルール			
講義後に、教科書にある練習問題にチャレンジし、学習済みの内容を次回の講義までに整理しておくといよい。				小テストで間違えた箇所を復習すること。小テストのうち少なくとも1回及び最終テストは必ず受けること。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	40	①	✓	小テストの点数を平均で判定する。 ① 授業内容を理解できているか確認する。 ② テキストの練習問題を中心に出题する。
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
		レポート	50	①	✓	授業内で実施する最終テスト（レポート）で判定する。 出題範囲は、各時点までの授業で学修した内容とする簿記一巡の流れが理解できているかにより評価する次の到達レベルをもって合格の基準とする 決算までが理解でき P/L、B/Sが作成できる・・・S 決算修正が理解でき精算表が作成できる・・・A 試算表が理解でき作成できる・・・B 仕訳が理解でき修正までできる・・・C C のレベルに達していない・・・F
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①				
		②				
		③				
		④				
		⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	(主体性) テキスト・資料以外の問題に自主的に取り組むことができる。 (課題発見能力) 応用問題に対して全体的に的確なポイントの整理ができる。 (実行力) 予習復習を確実にし、新たな問題に取り組むことができる。 (創造力) 実社会での必要性をイメージできる。 (発信力) 課題のポイントを相互に説明できる。 (傾聴力) 授業内容を十分に把握できわからない点を整理できる。 (規律性) 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S：決算までが理解でき、損益計算書と貸借対照表が作成できる。 A：決算修正が理解でき、精算表が作成できる。	B：試算表が理解でき、作成できる。 C：仕訳が理解でき、修正までできる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	社会人として必要な数字について学ぶ。簿記の基本的なルールについて理解する。	講義 練習問題 練習問題のポイントを振り返り解説	社会人としての数字の基本的ルールについて説明できる	貸方・借方をはじめとする簿記の基本的なルールを復習する。仕訳について予習する。	90	主体性 課題発見力 規律性
2	簿記の最初の処理である仕訳と転記のルールについて学ぶ	講義 練習問題 練習問題のポイントを振り返り解説	取引について仕訳の処理ができる。	仕訳と転記の方法を復習する。預金の処理を予習する。	90	主体性 課題発見力 規律性
3	事業が必要である現金と預金の簿記上の処理について学ぶ	講義 小テスト（翌週に返却し解説する）	前週までに学んだ内容を理解し小テストで50%以上の点を取る	預金に関する仕訳を復習する。有価証券・固定資産に関する処理を予習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
4	会社や事業を営む人が所有する財産（有価証券、固定資産など）について簿記上の処理を学ぶ。	前回の小テストを返却し内容を振り返り解説 講義 練習問題 練習問題のポイントを振り返り解説	会社や個人の資産について説明できる	有価証券や固定資産に関する仕訳を復習し、小テストで間違った論点を再確認する。商品売買の仕訳を予習する。	90	主体性 課題発見力 規律性
5	事業の基本である商品売買について、簿記上の処理を学ぶ。	講義 練習問題（回答の発表を行う） 練習問題のポイントを振り返り解説	商品売買の仕訳の処理ができる	商品売買の仕訳を復習する。売掛金と買掛金の概念を予習する。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 規律性
6	商品売買で発生するお金のやり取りについて、簿記上の処理を学ぶ。（売掛金、買掛金、未収入金、未払金）	講義 小テスト（翌週に返却し解説する）	前週までに学んだ内容を理解し小テストで50%以上の点を取る	商品売買に関連して使用する科目である売掛金、買掛金、未収入金、未払金の処理を復習する。手形と小切手の概要を予習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
7	商品売買などの取引で使っている特殊な支払い形態について学ぶ。（手形、小切手）	前回の小テストを返却し内容を振り返り解説 講義 練習問題 練習問題のポイントを振り返り解説	商慣習である、手形取引について仕訳の処理ができる	手形と小切手についての仕訳を復習し、小テストで間違った論点を再確認する。資金調達の手段について予習する。	90	主体性 課題発見力 規律性
8	商売上で発生する、資金調達手段や商売を始める時の処理について学ぶ。（貸付金、借入金、資本金）	講義 練習問題（回答の発表を行う） 練習問題のポイントを振り返り解説	商売上の資金調達に関する仕訳の処理ができる	資金調達手段の仕訳を復習する。帳簿組織の基本的な流れを予習する。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	お金の流れを記録管理する方法について学ぶ。(仕訳帳、総勘定元帳、現金出納帳)	講義 小テスト(翌週に返却し解説する)	前週までに学んだ内容を理解し小テストで50%以上の点を取る	帳簿組織を用いた簿記一巡の流れについて復習する。 商品売買を記録する帳簿について予習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
10	商品売買の流れを記録管理する方法について学ぶ。(商品有高帳、仕入帳、売上帳、売掛金元帳、買掛金元帳)	前回の小テストを返却し内容を振り返り解説 講義 練習問題 練習問題のポイントを振り返り解説	帳簿の記帳ができる	帳簿組織を用いた簿記一巡の流れについて復習し、小テストで間違った論点を再確認する。 伝票会計の概要を予習する。	90	主体性 課題発見力 規律性
11	日々の取引を記録する方法について学ぶ。(伝票会計)	講義 練習問題(回答の発表を行う) 練習問題のポイントを振り返り解説	伝票による取引に処理ができる	伝票会計を用いた処理を復習する。 帳簿の締切方法について予習する。	90	主体性 発見力 創造力 発信力 規律性
12	1年間の取引の記録をまとめるための方法を学ぶ。(帳簿の締切)	講義 小テスト(翌週に返却し解説)	前週までに学んだ内容を理解し小テストで50%以上の点を取る。	帳簿の締切方法を復習する。 試算表の意味を予習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
13	1年間を単位として記録が正しかったかを確認するとともに、決算を行うための集計表の作成方法について学ぶ。(試算表)	前回の小テストを返却し内容を振り返り解説 講義 練習問題 練習問題のポイントを振り返り解説	1年間の記録が正確であったかを確認する方法を説明できる	試算表の作成方法を復習し、小テストで間違った論点を再確認する。 決算処理の概要について予習する。	90	主体性 発見力 状況把握力 規律性
14	決算で数字を調整するための修正・整理をする方法について学ぶ。(決算修正)	講義 理解度確認小テスト 理解度確認小テストのポイントを振り返り解説	ここまでの内容理解度を確かめる小テストで50%以上の点を取る。	決算修正方法について復習する。 テキストのP233「精算表の作成」を予習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
15	1年間の財産の変動や商品売買による利益を計算する方法を学ぶ。(精算表、財務諸表)最終テスト	前回の理解度確認小テストを返却し内容を振り返り解説 講義 最終テスト 最終テストのポイントを振り返り解説	決算時の修正仕訳の仕訳ができる。	精算表・財務諸表に関する最終テストのポイント解説を復習	90	主体性 実行力 課題発見力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力